

プラスチックが創る未来、つなぐ人の輪
お客様と未来樹脂をつなぐコミュニケーション季刊誌

株式会社 未来樹脂

〒187-0043 東京都小平市学園東町1-7-14
Tel.042-346-1100 Fax.042-346-2020
URL www.miraijushi.co.jp



未来ニュース^{2009.} 8

弊社が40周年を機に武蔵野機工から未来樹脂へと社名変更してから早くも1年がたちました。プラスチックスペーサのメーカーとして、コンクリート製品業界と共に歩み、ここまで育てていただいたこと、皆様の長年に渡るご愛顧に心より御礼申し上げます。

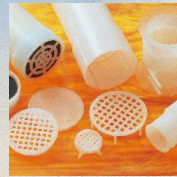
かつて様々な分野の再生・リサイクル製品は、環境性に優れていても品質で劣り、かつ再生の手間がかかるため、価格も高くなってしまいが一般的でしたが、環境の時代と呼ばれるようになったこの10年、大きく進化しています。

当社が取り組んできた「再生プラスチック」の分野も、2000年に施行された「容器包装リサイクル法」以降、再生量は年々増加し、又、新規参入する企業も多くなったことから、価格もこなれ、加工技術は大幅に向上しています。

弊社における再生プラスチック事業の技術開発もすすみ、従来では困難だったプラスチック製の「大型製品」や、コンクリート製品と組み合わせられる「肉厚製品」の成型が可能となり、皆様方のコンクリート製品により高い付加価値をつけるお手伝いができるようになりました。

「再生プラスチックを利用してこんな事が出来ないだろうか」「こんなものがあったら」など、皆様のご希望をお聞かせ頂きながら、新たな製品を創り出し、お役に立ちたいと願っております。

これからも、コンクリート製品企業様の売上げに貢献できるよう、様々な研究開発を進めて参りますので、末永く宜しくお願ひ申し上げます。



ものづくりの最前線で格闘し、
汗を流している方々を
プラスチックがしっかりサポートします

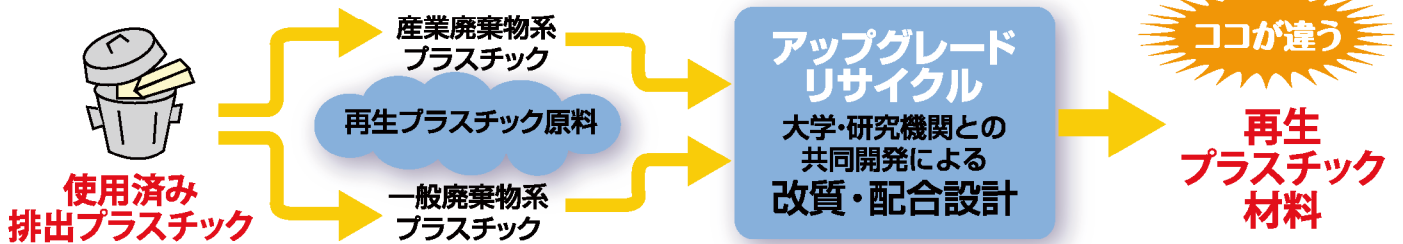
代表取締役社長
荻原 岳彦




再生プラスチックだから創れる。こんな使い方ができる。

 未来樹脂の再生プラスチックはココが違う!!

 違うその **1. 材料が違う** 製造する製品に最適な材料にするための、再生材の改質・高機能化を達成しました。



 違うその **2. 多様な成形方法** 多様な成形設備と自社製品製造で蓄積した生産技術で、皆様のニーズにお応えします。
射出成形／型込め成形／射出プレス成形／押し出し成形／シート成形／発泡成形

Products 1

100%再生プラスチックで コスト削減を実現 融流雪溝用通水網

写真のコンクリート製品にセットしてある黒い網が通水網です。初期の通水網は金属製でしたが、金属は重く、取付け時の作業性が悪い為、2人で作業しなければならない重労働であることと錆が出てしまうことが課題となっていました。

その後、効果を維持した設計で、プラスチック用専用金型を製作し、1年前まではPP(ポリプロピレン:バージン材料)製の通水網を標準仕様としていました。しかし、通水網もここ数年のナフサ高騰の余波を受け、コストダウンを模索していました。

課題解決のキッカケとなったのは、以前に弊社が再生プラスチックに取組んでいることを紹介していたことから、現在の100%再生複合プラスチックへの切り替えに至りました。

成形金型は、PPバージン材料仕様だったため、再生プラスチック(複合材料)の改質が課題となりましたが、これまでの取組みによって蓄積されていた材料改質ノウハウによって、成形後の収縮に伴う変形等も解決されました。

100%再生プラスチックに変更したメリットとしては以下の様な点があげられます。

- 一般家庭から排出されるプラスチックゴミを再生した材料が約50%以上使用されているため、通常のプラスチック材料の様に価格変動が殆どなく、コスト削減後のコスト維持が容易である。
- CO₂削減効果が、PPバージン材料と比較し、通水網1枚当り/約35%減となっている。

プレキャスト営業部・内田



Products

2

戸建住宅建設用養生シートが模様型に エクサシート

戸建住宅施工時に床への傷や汚れから保護するための養生シートとして開発された「エクサシート」の新たな使用方法をご紹介します。写真の製品は、カーポートの基礎として敷板を設置することにより、工期短縮やコスト削減が図れるコンクリート製品です。当初は製品面に模様はなかったのですが、タイヤの滑り止め効果と、駐車する時の目印(この上をタイヤが通るようにする)及びデザイン性を持たせるために模様をつけることに。

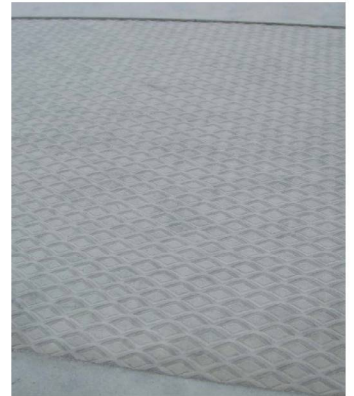
以前エクサシートをご紹介した際に、コンクリート製品に模様をつけるために使えるのではないだろうかと考え、試験的にエクサシートを型枠に両面テープで貼付けて製造されました。型枠を改造せず、安価でしかも簡単に任意のサイズに加工できることが大きな利点です。

使用したエクサシートはダイヤモンド柄の模様を任意のサイズにカットしています。すでに10回の打設と脱型を繰り返しましたが、それでもはっきりと模様が出ています。メーカーとしてはまったく想定していなかった使用方法ですが、非常に面白く、

まだまだいろんな使い方が出来るのではないだろうかと改めて考えるようになりました。

これからもお客さまから戴いたアドバイスを製品づくりに活かして行きたいと思えます。

プレキャスト営業部:琴塚



システム営業部から

ソフトウェア新商品のご紹介

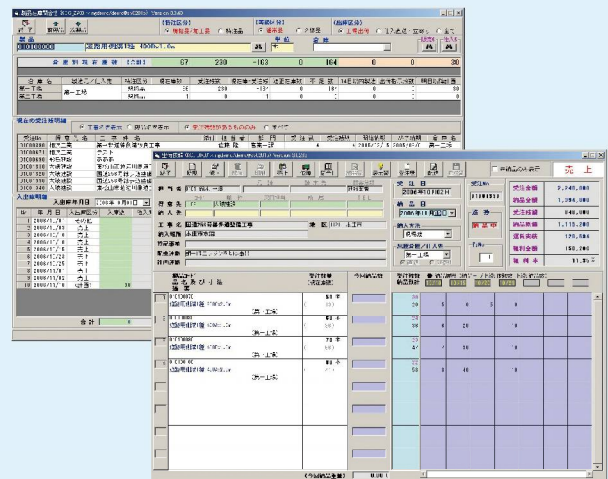
『承認願い発行システム』来春リリース予定!

1998年、二次製品工場の経営をサポートするパッケージソフトとして誕生しました専用システム『KINGコンク』も発売からはや10年が経過しました。

二次製品工場特有の商習慣や業務を熟知している弊社のノウハウと豊富な事例は導入する企業に安心と信頼を提供してきました。おかげさまで北海道から沖縄まで全国のお客様に導入され好評を頂いています。また、皆様の声を積極的に取り入れ、物件管理システムや原価管理システムなども次々に提供してきました。そしていよいよ来春『承認願い発行システム』がリリースされます。承認願いをサポートするシステムにぜひご期待ください。

二次製品メーカー専用ソフト一覧

1998年10月	二次製品工場専用統合パッケージ『KINGコンク』の販売開始
2001年 5月	複数事業所に対応した『KINGコンク21』をリリース
2001年 5月	汎用財務会計ソフトとの連携『会計リンク』機能をリリース
2003年 5月	部門間の連携を強化した『KINGコンクPro』をリリース
2003年11月	ASPサービスを開始
2005年 8月	営業支援システム『KINGコンクPro 物件管理』をリリース
2007年 3月	製品原価管理システム『KINGコンクPro 原価管理』をリリース



(写真はいずれもKINGコンクProの画面です)

ASPサービス(ASP: Application Service Provider)

お客様にはパソコンとインターネットだけをご用意いただき、センターのサーバーを利用して販売管理システムを運用するサービスのことで、サーバーに対する知識や保守は一切不要で、簡単にしかも安価にシステムを運用できます。

今回の訪問先 ● 青森県南津軽郡田舎館村

白馬にまたがる英雄、武将たち。 田んぼアート^{いなかだて}の里、田舎館村。



田んぼの中に出現する戦国武将(写真1)や白馬のナポレオン(写真2)。地域住民総出のアートです。城の天守閣を有する村役場のみごとな偉容。(写真3)

7月下旬、青森県へ出張した際に目にしたものをご紹介します。『時間があれば、東京へ帰る前に一度見ると良いよ』と地元のお客さまに紹介され、内容はお楽しみ…ということでした。車を運転すること5分。まず日に入って来たのが役場(写真右)。これが天守閣のある田舎館村役場でした。駐車場には軽食・お土産などのお店もあり、観光バスも数台。大勢の見物客の方が来られていました。

今年のテーマは『戦国武将とナポレオン』

写真右上がナポレオン、写真左上が戦国武将。全部地元の方々による「アート作品」です。このイベントは今年で17回目、私が青森県へ出張に行くようになって8~9年経ちますが、

今回初めてこの田んぼアートに出会いました。青森県と言えば、弘前城のさくら・ねぶた祭り・りんごで有名ですが、このアートは田んぼの緑と黒・白のほぼ3色でデザインされ、見応え十分で感動ものです。また岩木山の眺めも最高の場所です。開催期間は10月3日までとなっています。(翌日10月4日は稲の刈り取りが始まるそうです) 皆さんも機会がありましたら是非お立ち寄り下さい。

住所: 青森県南津軽郡田舎館村大字田舎館

現地までは無理という方は下記ホームページまでどうぞ。

<http://www.vill.inakadate.aomori.jp/>

現地へのアクセス

- 電車ご利用の場合 / JR川部駅下車または弘南鉄道弘南線川舎館駅下車
- バスご利用の場合 / 弘南バス弘前駅から黒石行より25分
- 車ご利用の場合 / 青森市より約60分、弘前市より約20分、黒石市より約10分



皆さまの街のTopicsを紹介させていただきます

私たち未来樹脂の営業担当は、仕事で日本各地を訪問しております。地域情報取材が専門ではありませんが、皆さまからのご要望があれば実際に取材し、ニュースで紹介していきたいと考えています。ご当地での「珍しい・旨い・きれい」等々のご自慢情報をどしどしお寄せいただければ幸いです。

「こんな製品があったらいいな」

皆さまの声を未来ニュースに

未来樹脂は、皆さまの現場からの生の声を大切にし、それをカタチにする企業です。「こういうことで困っている」「こんな製品があったらいいのだけれど…」というご意見・ご要望がありましたら、どうぞ遠慮なく「未来ニュース」担当者までお寄せください。



編集後記

トムニュースから10年、未来ニュースとして再スタートします。お客様との交流誌という位置づけにもなるように、今後も弊社営業部、開発技術部を初め、各地区の代理店・販売店も含めまして、お客様のご期待・ご要望に耳を傾け、サービス、新商品開発に向け取組んで参りますので、ご期待いただきますよう今後共何卒よろしくお願ひ申し上げます。 プレキャスト営業部部長・内田 英之